

- 問1 10世紀から11世紀にかけての日本の文化において、漢字を簡略化して作られ、貴族の生活や感情を自由に表現することを可能にした文字と、その文字を用いて執筆された文学作品の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. ハングル — 『奥の細道』や『曽根崎心中』
 2. カタカナ — 『徒然草』や『平家物語』
 3. 万葉仮名 — 『万葉集』や『日本書紀』
 4. かな文字 — 『源氏物語』や『枕草子』
-
- 問2 平安時代後期に始まった、天皇が位を譲って退位した後も、その住まいにおいて「上皇」として政治の実権を握る体制を何といいますか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
1. 院政
 2. 執権政治
 3. 幕府政治
 4. 摂関政治
-
- 問3 平安時代初期、僧の最澄は唐へ渡って仏教を学び、帰国後に新しい宗派を広めました。彼が修行の拠点として比叡山に建立し、後に多くの高僧を輩出することになった寺院の名称と、その宗派の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 真言宗・金剛峯寺
 2. 時宗・清浄光寺
 3. 浄土宗・知恩院
 4. 天台宗・延暦寺
-
- 問4 藤原道長が活躍した平安時代中期には、社会不安を背景に「念仏を唱えて阿弥陀如来にすがり、死後に極楽浄土へ生まれ変わる」という考え方が貴族から民衆にまで広まりました。この信仰を何といいますか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 禅宗
 2. 本地垂迹
 3. 法華信仰
 4. 浄土信仰
-
- 問5 平安時代、最澄は唐から帰国した後に比叡山を拠点として天台宗を広めました。この時代に行われた仏教の動きについて、最澄と同時期に活躍した人物とその宗派の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2019年 島根県公立入試 類似)
1. 空海が、高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めた
 2. 日蓮が、法華経の教えを重んじて日蓮宗（法華宗）を開いた
 3. 親鸞が、浄土真宗（一向宗）を説いて民衆の救済を図った
 4. 一遍が、踊り念仏を通じて時宗を各地に広めた
-
- 問6 平安時代後期、白河天皇が幼少の皇子に位を譲った後、上皇として自ら政治を主導した体制を何と呼ぶか、名称として正しいものを書きなさい。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
1. 院政
 2. 親政
 3. 摂関政治
 4. 武家政治
-
- 問7 保元の乱・平治の乱を勝ち抜いて武士として初めて太政大臣となり、大輪田泊（現在の神戸市）を整備して行われた貿易と、その中心人物の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
1. 足利義満 — 日明貿易
 2. 平清盛 — 日明貿易
 3. 平清盛 — 日宋貿易
 4. 源頼朝 — 日宋貿易
-
- 問8 中尊寺金色堂が位置する岩手県平泉に関連する記述として、歴史的な事実に基づいた正しいものはどれか。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
1. 平泉は源頼朝の命によって、東国を統治するための幕府の出先機関である「奥州総奉行」が設置された政治の中心地である。
 2. 室町時代に足利義政が隠居所として開発した地域であり、簡素な美しさを尊ぶ「わび・さび」の文化の源流となった。
 3. 平泉は、奥州藤原氏が三代にわたり拠点とした都市であり、現在は当時の浄土教に関わる寺院や庭園の遺跡群が世界文化遺産に登録されている。
 4. 平安京の景観を完全に模倣して造られたため「北の京」と呼ばれ、遣唐使によってもたらされた最新の大陸文化が花開いた。
-
- 問9 8世紀の歴史年表において、奈良時代の終わってから平安時代の始まりにかけて、仏教勢力から距離を置き政治を立て直すために、平城京から長岡京、さらに平安京へと都を移した天皇は誰ですか。 (2023年 山形県公立入試 類似)
1. 持統天皇
 2. 天武天皇
 3. 聖武天皇
 4. 桓武天皇
-
- 問10 平安時代、藤原氏は自分の娘を天皇の後（きさき）とし、生まれた子を次の天皇に立てることで政治の実権を握りました。このように、天皇が幼少である期間に、その名代として政治を行う役職を何といいますか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 摂政
 2. 太政大臣
 3. 征夷大將軍
 4. 関白
-
- 問11 奈良時代末期、仏教勢力が政治に深く関与するようになった状況を打破し、天皇中心の政治を立て直す目的で行われた政治改革に関連する記述です。七百九十四年に都を山背国の平安京へと移し、新しい政治の刷新を図った天皇として正しいものを選びなさい。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
1. 天智天皇
 2. 天武天皇
 3. 推古天皇
 4. 桓武天皇
-
- 問12 12世紀後半に武士として初めて太政大臣となり、政治の実権を握った人物が行った経済政策として最も適切なものはどれですか。この人物は、現在の神戸市にあたる場所に港を整備したことで知られています。 (2026年 福島県公立入試 類似)
1. 勘合を用いて明との貿易を行い、倭寇の取り締まりを強化した。
 2. 堺や博多の商人に特権を与え、座を廃止して自由な取引を認めた。
 3. 朱印状を発行して東南アジア諸国との貿易を奨励した。
 4. 大輪田泊を修築し、宋との貿易を積極的に進めて富を蓄えた。
-
- 問13 平安時代後期に行われた「院政」と呼ばれる政治の仕組みや背景について、正しい説明はどれですか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
1. 仏教による国家の安定を目指し、全国に国分寺や国分尼寺を建立して人々の心を掌握する政治。
 2. 天皇が退位して上皇となった後、独自の役所を設けて摂政や関白を介さずに政治を行う仕組み。
 3. 藤原氏の娘を天皇のきさきとし、その子供を次の天皇に立てることで権力を独占する仕組み。
 4. 地方の混乱を抑えるために有力な武士を国司として派遣し、土地の管理を直接行わせる制度。
-
- 問14 藤原氏が摂関政治を通じて長期間にわたり政治の実権を維持できた理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
1. 天皇の位を退いた後も、上皇として「院」から政治の指図を出し続けたから。
 2. 遣唐使を廃止することで大陸との交流を断ち、国内の貴族の支持を独自に固めたから。
 3. 鎌倉府の長官として軍事力を背景に、幕府の実権を将軍に代わって握ったから。
 4. 自分の娘を天皇の妃にし、生まれた子を天皇に立てて、その母方の祖父として権力を振るったから。
-
- 問15 平安時代中期、西暦1000年前後に執筆された『源氏物語』や『枕草子』などの文学作品が登場した背景にある、文字の歴史的な変化を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
1. 中国から伝えられた漢字のみを用いて、当時の話し言葉をそのまま表記する手法が確立された。
 2. 漢字を崩したり、その一部を抜き出したりして作られた「かな文字」が発明され、日常的に使われるようになった。
 3. 朝廷が公用語としてハングルを採用したことで、女性による文学創作が容易になった。
 4. 印刷技術の普及により、それまでの口承文学が急速に文字化されるようになった。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 かな文字 — 『源氏物語』や『枕草子』	この時期、漢字を崩したり一部を取ったりして作られた「かな文字」が広く普及しました。これにより、漢文では表現しにくかった微妙な感情や宮廷生活の様子を表現できるようになり、紫式部による物語文学や清少納言による随筆など、日本文学の傑作が数多く誕生しました。
問2	答え 1 院政	天皇が位を譲り上皇となった後、その住まいである「院」において実権を握り続けた政治を院政と呼びます。それまでの藤原氏を中心とした摂関政治に対し、天皇家が主導権を取り戻す役割を果たしました。
問3	答え 4 天台宗・延暦寺	最澄は平安京の北東に位置する比叡山に延暦寺を建て、天台宗を広めました。比叡山は「日本仏教の母」とも呼ばれ、鎌倉時代に新しい宗派を開いた法然や親鸞などもここで修行したことで知られています。同時期に空海が和歌山県の高野山に金剛峯寺を建てて開いたのは真言宗です。
問4	答え 4 浄土信仰	「末法思想」の影響で、現世での救いをあきらめ来世での幸せを願うこの信仰が流行しました。藤原道長が建立した法成寺や、その子の頼通が建立した平等院鳳凰堂は、この信仰に基づいて「この世に現れた極楽浄土」を表現しようとしたものです。
問5	答え 1 空海が、高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めた	最澄が天台宗を開いた平安時代初期には、同じく唐に渡って学んだ空海も帰国し、高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を開きました。これらは山の中で厳しい修行を行う密教として発展し、貴族の支持を得ました。他の選択肢にある親鸞、一遍、日蓮は、13世紀の鎌倉時代に登場した鎌倉新仏教の人物です。
問6	答え 1 院政	白河天皇は1086年に位を譲って上皇となった後も、藤原氏が代々務めていた摂政や関白の影響を抑え、自ら政治の実権を握り続けました。この政治体制を院政と呼び、その後約100年にわたって上皇が政治の中心となる時代が続きました。
問7	答え 3 平清盛 — 日宋貿易	平清盛は、保元の乱・平治の乱という二つの戦いを通じて政治の実権を握り、武士として初めて太政大臣に任命されました。彼は兵庫の港（大輪田泊）を修築し、当時の中国の王朝である宋と「日宋貿易」を積極的に行いました。宋から輸入された大量の宋銭は、日本国内で貨幣経済が普及するきっかけの一つとなりました。
問8	答え 3 平泉は、奥州藤原氏が三代にわたり拠点とした都市であり、現在は当時の浄土教に関わる寺院や庭園の遺跡群が世界文化遺産に登録されている。	平泉は奥州藤原氏三代（清衡、基衡、秀衡）の時代に、仏教の理想郷を目指した都市として整備されました。中尊寺だけでなく毛越寺の庭園などでも有名です。2011年には「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」として、世界文化遺産に登録されました。
問9	答え 4 桓武天皇	奈良時代後半、平城京では仏教勢力が政治に強く介入し、律令政治が乱れていました。これを刷新するため、784年に長岡京へ、続いて794年に山背国（現在の京都府）の平安京へと遷都を行い、新しい政治体制を築こうとしました。
問10	答え 1 摂政	藤原氏は天皇の母方の親戚（外戚）という立場を利用して、政治の重要なポストを独占しました。天皇がまだ子供である時に、天皇に代わって政治を執り行う役職が摂政です。一方で、天皇が成人した後に、その補佐として政治を行う役職は「関白」と呼ばれ、これらを合わせて摂関政治といいます。
問11	答え 4 桓武天皇	平城京では有力寺院の勢力が強まり、政治に大きな影響を及ぼすようになっていました。この影響を断ち切り、律令政治の再建（政治改革）を目指して、七百九十四年に平安京への遷都が実行されました。これにより約400年にわたる平安時代が幕を開けることになります。
問12	答え 4 大輪田泊を修築し、宋との貿易を積極的に進めて富を蓄えた。	平清盛は、武士として初めて政権の頂点に立つと、経済基盤を固めるために日宋貿易を推進しました。そのために、現在の神戸市にあたる大輪田泊を大規模に修築し、宋の大型船が停泊できるようにして、宋銭や陶磁器などの輸入を行いました。
問13	答え 2 天皇が退位して上皇となった後、独自の役所を設けて摂政や関白を介さずに政治を行う仕組み。	院政は、藤原氏が摂政や関白として権力を独占する「摂関政治」に対抗し、天皇家が政治の主導権を取り戻すために行われました。上皇は「院庁」という独自の役所を置き、北面の武士を組織して警護にあたらせるなど、従来の官僚組織とは異なるルートで政治を動かしました。藤原氏の婚姻政策は摂関政治の特徴であり、国分寺の建立は奈良時代の聖武天皇による政策です。
問14	答え 4 自分の娘を天皇の妃にし、生まれた子を天皇に立てて、その母方の祖父として権力を振ったから。	摂関政治の最大の特徴は、天皇の母方の親戚（外戚）になることで権力基盤を固めた点にあります。藤原氏は娘を天皇に嫁がせ、その子が次の天皇になることで、外祖父として摂政や関白の地位を独占し、政治を思いのままに動かしました。上皇が政治を行うのは「院政」、将軍の補佐役が実権を握るのは「執権政治」であり、これらとは背景が異なります。
問15	答え 2 漢字を崩したり、その一部を抜き出したりして作られた「かな文字」が発明され、日常的に使われるようになった。	国風文化の時期に「かな文字」が広く使われるようになったことは、日本独自の文学が発展する決定的な要因となりました。これにより、漢字では表現しきれなかった繊細な感情や生活の様子を記述することが可能になり、女性作家たちによる優れた宮廷文学が生まれる土壌が整いました。